

情報リテラシー 課題

【課題】 以下の見積書を作りなさい。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1									日付	2009年7月9日		
2	御 見 積 書								見積番号			
3												
4	会社名 山田製造株式会社								顧客コード U0001			
5									自社名	日本文具商社		
6	部署名	事務長										
7	役職名											
8	担当者	山田 公助 様			〒	533-0023						
9	TEL:	06-7506-0001										
10	FAX:	06-7506-0010										
11	納入場所:	533-0014大阪市南淀川区法等1-21-22										
12	支払条件:	15日締めの25日払い										
13	有効期限:	2009年 8月31日										
14	締 期:	2009年 8月10日										
15	下記の通りお見積申し上げます。											
16												
17												
18	御見積金額	¥28,265		円								
19												
20	単位:円											
21	商品コード	商品名			数量	単位	単価	金額				
22	S0001	鉛筆(HB)			10	本	50	500				
23	S0002	鉛筆(B)			20	本	50	1,000				
24	S0003	消しゴム			5	個	30	150				
25	S0004	ノート(A4 100P B掛)			32	冊	250	8,000				
26	S0005	ホッチキス(小)			45	個	150	6,750				
27	S0006	スティック糊(中)			32	個	130	4,160				
28	S0007	ボールペン(黒)			78	本	50	3,900				
29	S0008	ボールペン(赤)			34	本	50	1,700				
30	S0009	ボールペン(青)			56	本	50	2,800				
31	S0010	シャープペンシル			20	本	300	6,000				
32												
33												
34												
35												
36												
37												
38												
39												
40												
41												
42												
43												
44												
45												
46												
47												
48								合計		34,960		
49								割引金額		26,919		
50								消費税(5%)		1,346		
51	備考							税込み金額		28,265		

1. シート「Sheet 2」に以下の表（在庫）を作りなさい。

シート名を「在庫」に変更しなさい。

	A	B	C	D	E
1	商品コード	商品名	単価	単位	在庫数
2	S0001	鉛筆(HB)	50	本	1000
3	S0002	鉛筆(B)	50	本	2000
4	S0003	消しゴム	30	個	500
5	S0004	ノート(A4 100P B掛)	250	冊	300
6	S0005	ホッチキス(小)	150	個	200
7	S0006	スティック糊(中)	130	個	400
8	S0007	ボールペン(黒)	50	本	800
9	S0008	ボールペン(赤)	50	本	700
10	S0009	ボールペン(青)	50	本	750
11	S0010	シャープペンシル	300	本	900

2. シート「Sheet 3」に以下の表（顧客）を作りなさい。

シート名を「顧客」に変更しなさい。

	C	D	E	F	G	H	I
1	郵便番号	住所(納入場所)	電話番号	FAX番号	部署/役職	担当者	割引率
2	533-0014	大阪市南淀川区法等1-21-22	06-7506-0001	06-7506-0010	事務長	山田 公助	0.77
3	533-0015	大阪市北淀川区大川1-1-26	06-6329-0002	06-6329-0009	総務課長	西谷 五郎	0.75
4	533-0016	大阪市南淀川区法等1-21-2	06-7506-0003	06-7506-0023	技術部長	井谷 四助	0.99
5	533-0017	大阪市北淀川区大川1-22-22	06-7506-0004	06-7506-0034	代表取締役	西田 公典	1
6	533-0018	大阪市南淀川区法等1-2-22	06-7506-0005	06-7506-1234	事務課	日本 花子	0.69
7	533-0019	大阪市北淀川区大川1-12-32	06-7506-0006	06-7506-4321	経理部	鈴木 恵子	0.66
8	533-0020	大阪市南淀川区法等1-11-11	06-7506-0007	06-7506-6789	営業部	大北 太郎	0.76
9	533-0021	大阪市北淀川区大川1-12-41	06-7506-0008	06-7506-4356	生産課長	佐藤 洋子	0.8
10	533-0022	大阪市南淀川区法等1-22-22	06-7506-0009	06-7506-6578	デザイン課	国田 紀美子	0.85
11	533-0023	大阪市北淀川区大川1-21-1	06-7506-0010	06-7506-9825	システム部	内田 義男	0.65

3. シート「Sheet1」に以下の表（見積書）を作りなさい。

シート名を「見積書」に変更しなさい。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1									日付			
2									見積番号			
3												
4	会社名											顧客コード
5							自社名					
6	部署名											
7	役職名											
8	担当者							〒				
9	TEL:							住所				
10	FAX:											
11	納入場所:							TEL:				
12	支払条件:							FAX:				
13	有効期限:							部署名				
14	納期:							社員名				
15												
16	下記の通りお見積申し上げます。											
17												
18	御見積金額											
19												
20												単位: 円
21	商品コード	商品名				数量	単位	単価	金額			
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												
31												
32												
33												
34												
35												
36												
37												
38												
39												
40												
41												
42												
43												
44												
45												
46												
47												
48	備考							合計				
49								割引金額				
50								消費税(5%)				
51								税込み金額				

【以下の作業をこなさい。】

- ・日付は、セル「K1」にその日が「2009年7月10日」と表示できるようにこなさい。
年を西暦で表示するためには、以下の関数を使います。

YEAR (NOW ()) . . . YEAR () 関数は、西暦を返す関数です。
NOW () 関数は、現在の日付と時刻を返す関数です。

月を表示するためには、以下の関数を使います。

MONTH (NOW ()) . . . MONTH () 関数は、月を返す関数です。

日を表示するためには、以下の関数を使います。

DAY (NOW ()) . . . DAY () 関数は、日を返す関数です。

したがって、以下のように式を書くと「2009年7月10日」のように現在の日付を表示することができます。

=YEAR(NOW()) & "年" & MONTH(NOW()) & "月" & DAY(NOW()) & "日"

「&」は、文字列と文字列を連結するための演算子です。

- ・見積番号は、手入力するので式を設定する必要はありません。
- ・会社名は、セル「M4」に入っている「顧客コード」を検索値にして、セル「C4」にVLOOKUP () 関数を使ってシート「顧客」から参照できるように式を設定します。

しかし、セル「M4」の顧客コードが空白の場合は、検索値がないためVLOOKUP () 関数は、エラーを返してきます。

また、VLOOKUP () 関数は、最後のパラメータを省略するか「TRUE」または、「1」の値を書くあいまい検索（不完全一致検索）になります。したがって、見つからない場合は、最後の行を返してくるので、明確に「FALSE」または、「0」を書くことで完全一致検索するようになります。この場合、完全一致しない場合は、エラーを返してきます。

このセル「C4」がエラーになると「#N/A」と表示されます。

このエラーを回避する関数として、IFERROR () があります。書式は、以下のようになります。

IFERROR (エラーがない場合の値、エラーの場合の値)

このセル「C4」の式は、以下のようになります。

=IFERROR(VLOOKUP(M4,顧客!A2:I100,2,FALSE),"")

エラーの場合の値が「""」になっていますが、これは「ヌル」と言い、セルの中を空白にするための記述です。

セルを参照する場合は、参照するセルが空白であったり、関数がエラーを返してきたりする場合、そのセルは、エラー表示（#N/A）されてしまうので、以下の処理は、すべてこの考え方で行ってください。

・部署名、役職名は、セル「M4」に入っている「顧客コード」を検索値にして、セル「C6」にVLOOKUP () 関数を使ってシート「顧客」から参照できるように式を設定します。

・担当者は、セル「M4」に入っている「顧客コード」を検索値にして、セル「C7」にVLOOKUP () 関数を使ってシート「顧客」から参照できるように式を設定します。

担当者は、お客様なので名前の後ろに「様」がつくようにしてください。

山田 太郎 様

・TELは、セル「M4」に入っている「顧客コード」を検索値にして、セル「C8」にVLOOKUP () 関数を使ってシート「顧客」から参照できるように式を設定します。

・FAXは、セル「M4」に入っている「顧客コード」を検索値にして、セル「C9」にVLOOKUP () 関数を使ってシート「顧客」から参照できるように式を設定します。

・納入場所は、セル「M4」に入っている「顧客コード」を検索値にして、セル「C11」にシート「顧客」の「郵便番号」と「住所（納入場所）」を連結して表示するように、VLOOKUP () 関数を使ってシート「顧客」から参照できるように式を設定します。

式は、以下のようになります。

=IFERROR(VLOOKUP(M4,顧客!A2:I100,3,FALSE & VLOOKUP(M4,顧客!A2:I100,4,FALSE),""))

・自社名、〒、住所、TEL、FAX、部署名、社員名は、手入力するので式を設定する必要はありません。

・商品名は、その行の左側の「商品コード」を検索値として、セル「C22」にVLOOKUP () 関数を使ってシート「在庫」から参照できるように式を設定します。

=IFERROR(VLOOKUP(B22,在庫!\$A\$2:\$E\$100,2), "")

朱書きの部分「\$A\$2:\$E\$100」に「\$」絶対セル番地記号と言います。

Excelは、式をコピーや移動させると自動的にセル番地もカウントされてしまいます。

このカウントを止めたいときにこの絶対セル番地を使います。

セル番地の列番地の前に「\$」を付けると列番地のみ固定されます。（\$A100）

セル番地の行番地の前に「\$」を付けると行番地のみ固定されます。（A\$100）

セル番地の列番地、行番地の両方に「\$」を付けると列番地、行番地の両方が固定されます。

（\$A\$100）

この式をセル「C22」に設定したのちに「C23」から「C47」までコピーすれば「\$A\$2:\$E\$100」の部分は変化しません。

以下、単位、単価も同じように処理します。

・金額は、数量と単価を掛けたものなのでその式を設定します。数量は、お客様が注文した数を入力するので式を設定する必要はありません。

- ・合計は、セル「K 2 2」から「K 4 7」の合計を求める式を設定します。
- ・割引金額は、シート「顧客」の割引率を参照して合計から割引金額を算出する式を設定します。
- ・消費税（5%）は、割引金額から算出する式を設定します。
- ・税込金額は、「割引金額」と「消費税」を加算する式を設定します。
- ・見積金額は、税込金額を参照する式を設定します。

これで完成です。